

新
京
日
日
新
聞

朝

【紙本朝刊夕二十頁】

發行所 電話 新東京 柴田 三〇五	發行所 電話 新東京 柴田 三〇五	料定本紙 金合價銀 特普通部 別進二稅 行一ヶ月 成貳圓拾壹 四圓五五 拾陸錢面
-------------------------------	-------------------------------	---

編輯人 松本榮志

優等清酒
福鶴

空中戦偉功の陸鷲部隊
再び南鄭を猛爆撃

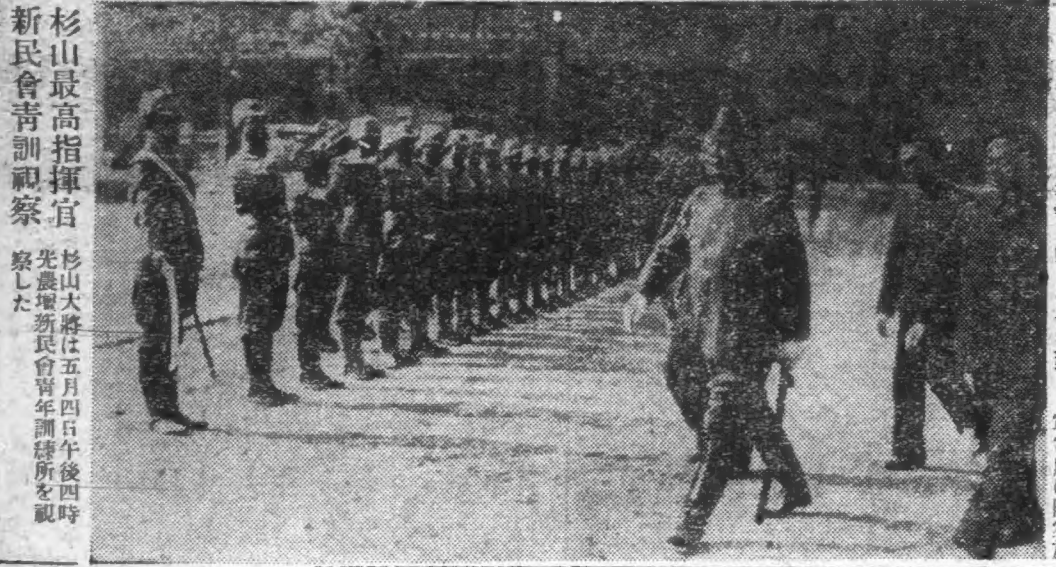
洛陽、西安には機影なし

重慶政府遷都準備

四川軍閥の動向注目

成都、防備に狂奔

市民に避難命令發す



杉山最高指揮官
新民會青訓視察

杉山大將は五月四日午後四時
先農壇新民會青年訓練所を視
察した

十ヶ師の敵を包圍

第五戰區の陣地相次で攻略

各所に果敢な突撃戰

(〇六)日(國選) 京漢鐵路西
攻を重ね五日敵主陣地嶺の一
角を突破せし澤山、寺岡、山
地方地区における敵第五聯隊部
隊の調遣を期して猛烈な攻撃に
政攻撃を續けるが其軍は六日
日蘭十師団の襲撃を蒙る

げた戦果は
敵死傷五十八人、捕獲品も小銃百八十九挺、三八式銃三挺、小銃百七挺、手榴彈二百四十個、馬鞍、馬具、食糧、被服等類多量に奪取した。地方自治

地を一舉に奪取、今や
龍潭溝に隣つた敵中に突
進するに至り、大々的

各地の戦果

【徐州六日發國通】堀井部
隊今田部隊は四日宿遷北方
五、六百の敵が播居し屢々

滿ソ西部國境下
外蒙兵不法捕

わが方直ちに撃退す

小癘通城硯ふ敵

わが猛反撃に粉碎

力一英大使成都へ

あるとみられる

敵軍長高桂茲

確報によればこの空爆によつて敵第十七軍長兼第八十四師

陸驚部隊も協力

激戰、頑敵二千を屠る

京漢線西
愛甲
屠つて同高地を占領した、右
戦線における戦果は敏死のみ
正而呼應しての總攻撃

てわが軍の擧げた戦果は左の

豊田銅火元

如く、赫々たるものである
遺棄死體五九〇、捕虜二二
兩國品、小銃二八二、手榴

[illegible]

たい省をダムの切一
堂食御の位本様皆

毎日の御食事に
 時折の御會食に
セヒお越し下さい！

材料の精撰
 調理の吟味
 給仕の親切
 これが安心
 して頂ける
 第一の誇りです
 それで新装の内部は設備の萬全を期し氣
 持のよい氣安い食堂として充分氣を配つ
 てゐます

**高級
 喫茶部**

ルビ上 海 京 東
堂食同大
 軒洋大

蔵吉村川 店堂經 街大同大

お食事と御宴會

混雜しやすい午餐のひとつも設備
 の萬全と従業員の努力によつて少し
 のあはたゞしさもありませぬ。

セヒ一度お越し下さい

調理ザーヴィス等充分に注意し、氣
 持のよい、氣安い食堂として、きつと
 御満足を取けると確信いたします。

**皆様
 の
 御食堂**

ルビ上 海 京 東
堂食同大

堂經軒洋大 街大同大

月曜 乙巳三月
先賃 日九十八
危宿 日九十八
東京本館・神田區

一白の人 大第に順調の日
二黒の人 何事とも面白く順
三碧の人 内を調へて外吉
四靑の人 満分の望みあり
五黄の人 小資を以て巨利
六白の人 横道に走りて失
七赤の人 機運可ならず進
八白の人 梁進する日氣し
九紫の人 事業の根柢に動
良と西来す日懷業に考慮せよ

中央通十二
ヤマト屋
五九八七
酒洋國各
子葉干・生洋和
草煙洋和種各
福太入豆製特

うなぎ
天ふら
御酒は
月桂冠

電気時計店

目覚時計
¥20.00より

期間 自4月25日
至5月20日

電気業の店

民事刑事
及法律顧問
一般法律事務之專任
律師 別役増吉
辯護士
朝日通二五番地
電話③二八八五

即納品案内

横型 定置式空氣壓縮機

日立製
北條製
百馬力以下三十馬力迄

新品 京城在庫
右御入用の方は至急御照會被下度候
京城府明治町一丁目一〇

株式會社 關東機械製作所
電話本局二四二・四三二九・四五六八

うなぎ
天ふら
を始めました
食道樂
かほる
大經路一二二草津温泉前
電話②一二六二番

